Open COBOL Factory 21

[製品構成]

製品名称	対応OS							メモリ（最小）	HDD（最小）	希望小売価格（税別）	備考
	Windows 98/Me	Windows NT4.0		Windows 2000			Windows XP				
		Server	Workstation	Advanced Server/Server	TS*	Professional	HomeEdition/Professional				
COBOL85 Pro	○	○	○	○		○	○	5MB	14MB	25万円	COBOL85 View GeneratorとCOBOL85 SQLEXTENTIONを同梱
COBOL85 Pro ランタイム	○	○	○	○		○	○	2MB	5MB	1万円～	必須ソフト：XML連携機能使用時にはBizConnector for Express5800シリーズ
COBOL85 Pro サーバコンポーネントランタイム		○		○				2MB	5MB	20万円	必須ソフト：COBOL85 Proサーバコンポーネントランタイムアクセスライセンス、XML連携機能使用時にはBizConnector for Express5800シリーズ
COBOL85 Pro サーバコンポーネントランタイムアクセスライセンス		○		○						2万円～	
COBOL85 Pro TS*ランタイム					○			2MB	5MB	2万円～	
COBOL85 Pro TS*ランタイム アクセスライセンス					○					2万円～	
ObjectPartner Pro	○	○	○	○		○	○	10MB	2MB	35万円	必須ソフト：COBOL85 Pro、CORBAコンポーネント生成機能使用時には、WebOTX開発環境、WebOTX実行環境・運用環境が必須
COBOL Remote Workbench	○	○	○	○		○	○	サーバ10MB クライアント10MB	サーバ2MB クライアント10MB	100万円	ネットワークコンポーネントにTCP/IPプロトコルの設定が必要 COBOL85 Proと5ユーザクライアントライセンスを同梱
COBOL Remote Workbench クライアントライセンス	○	○	○	○		○	○	10MB	10MB	8万円～	ネットワークコンポーネントにTCP/IPプロトコルの設定が必要
COBOL85	○	○	○	○		○	○	5MB	16MB	15万円	
WEBCOBOL	○	○	○	○		○	○	5MB	15MB	10万円	必須ソフト：COBOL85 ProまたはCOBOL85
WEBCOBOL ランタイム		○		○				1.2MB	1.0MB	4万円	必須ソフト：COBOL85 Proを使用して作成したオブジェクトの実行時はCOBOL85 Proランタイム
COBOL85 SQLEXTENSION	○	○	○	○		○	○	5MB	5MB	7万円	必須ソフト：COBOL85 ProまたはCOBOL85、使用するDBに対応したODBCドライバ
COBOL85 SQLEXTENSION ランタイム	○	○	○	○		○	○	2MB	2MB	2万円～	必須ソフト：COBOL85 Proを使用して作成したオブジェクトの実行時はCOBOL85 Proランタイム、使用するDBに対応したODBCドライバ
COBOL85 SQLEXTENSION TS*ランタイム					○			2MB	2MB	4万円～	
COBOL85 SQLEXTENTION TS*ランタイムアクセスライセンス					○					2万円～	
COBOL85 View Generator	○	○	○	○		○	○	6MB	15MB	7万円	必須ソフト：COBOL85 ProまたはCOBOL85
COBOL85 View Generator ランタイム	○	○	○	○		○	○	1.2MB	1.0MB	2.5万円～	必須ソフト：COBOL85 Proを使用して作成したオブジェクトの実行時はCOBOL85 Proランタイム
COBOL85 View Generator TS*ラ ンタイム					○			1.2MB	1.0MB	5万円～	
COBOL85 View Generator TS*ランタイムアクセスライセンス					○					2.5万円～	
COBOLCLINIC	○	○	○	○		○	○	16MB	8MB	10万円	必須ソフト：Access等ODBC対応のDB、プロファイル機能使用時にはCOBOL85 ProまたはCOBOL85
COBOL OOExtension	○	○	○	○		○	○	10MB	20MB	10万円	必須ソフト：COBOL85 ProまたはCOBOL85
COBOL OOExtension ランタイム	○	○	○	○		○	○	10MB	2MB	2万円～	必須ソフト：COBOL85 Proを使用して作成したオブジェクトの実行時はCOBOL85 Proランタイム
帳楽Ex	○	○	○	○		○	○	6MB	3.5MB	9.8万円	必須ソフト：COBOL85 ProまたはCOBOL85
帳楽Ex 印刷キット	○	○	○	○		○	○	2MB	1MB	1万円～	必須ソフト：COBOL85 Proを使用して作成したオブジェクトの実行時はCOBOL85 Proランタイム
帳楽Ex TS*印刷キット					○			2MB	1MB	2万円	
帳楽Ex TS*印刷キットアクセスライセンス					○					1万円～	
プリ楽		○		○				2MB	1MB	12万円	
プリ楽クライアント追加接続ライセンス	○	○	○	○		○	○	2MB	3.5MB	5万円～	
IFASPRO(Windows 2000 版)		○		○	△			3MB	11MB	10万円	Windows2000上のTerminal Servicesを利用する場合は、IFASPROユーザライセンスパックが必須
IFASPRO(Windows 98/Me/2000版)ユーザライセンスパック	○	○	○	○	○	○	○	3MB	11MB	1.6万円～	C/Sアクセスのサーバとしての利用は不可
SORTKIT for Server		○		○	○			2.5MB	7.0MB	20万円	
SORTKIT for PC	○		○			○	○	2.5MB	6.5MB	5万円	
SORTKIT for Terminal Services					○			2.5MB	7.0MB	5万円	
SORTKIT for COBOL85 Pro サーバコンポーネント アクセスライセンス		○		○	○					1.7万円～	必須ソフト：SORTKIT for ServerまたはSORTKIT for Terminal Services
SORKIT for PCユーザライセンスパック	○		○			○	○			4万円～	必須ソフト：SORTKIT for PC
SORTIKIT for Terminal Services アクセスライセンス					○					4万円～	必須ソフト：SORTKIT for ServerまたはSORTKIT for Terminal Services

*TSとは、ターミナルサービスを意味します。

動作環境：Pentiumまたは互換CPUを使用しWindows 98/Me、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XPが稼働するパーソナルコンピュータおよびExpressサーバ

●本カタログに記載の画面は、製品版と異なる場合があります。
●Windows、Windows NT、Access、Visual Basic、Visual C++は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
●Pentiumは、米国インテル社の登録商標です。
●Oracleは、ORACLE Corporationの商標です。
●Pro*COBOLは、米国ORACLE Corporationの登録商標です。
●SQL Server、ActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
●Sybaseは、Sybase Inc.の登録商標です。
●INFORMIXは、INFORMIX Software Inc.の登録商標です。
●Javaは、サン・マイクロシステムズ社の商標です。

●CORBA（Common Object Request Broker Architecture）は、非営利の国際団体であるOMG（Object Management Group）が確立した分散アプリケーション開発のための標準仕様です。
●DCOM（Distributed Component Object Model）は、米国Microsoft Corporationが提唱する分散オブジェクトモデルの名称です。
●ODBC（Open DataBase Connectivity）は、米国Microsoft Corporationが規定したデータベースアクセスのためのアプリケーションインタフェースです。

Open COBOL Factory 21に関する情報は、インターネットでもご覧いただけます。
http://www.sw.nec.co.jp/cced/ocf21/

お問い合わせは、下記のNECへ

ユビキタスソフトウェア事業部
〒108-8558 東京都港区芝浦4-14-22（大東田町ビル）
TEL 東京03（3456）5692　FAX 東京03（3456）6805
E-mail：info@cced.jp.nec.com

★このカタログの内容は改良のために予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承下さい。
★本製品（ソフトウェアを含む）が、外国為替および外国貿易法の規定により、輸出規制品に当該する場合は、日本国外に持ち出す際に日本国政府の輸出許可申請等必要な手続きをお取り下さい。詳しくは、マニュアルまたは各製品に添付しております注意書きをご参照下さい。
★本製品の設置・接続・使用に際しましては、取扱説明書（「ユーザーズマニュアル」「取り扱いの手引き」等含む）に記載されております注意事項や禁止事項をあらかじめご熟読のうえ、必ずお守り下さい。
★本カタログに掲載しております全商品の価格には消費税は含まれておりません。ご購入の際、消費税が付加されますのでご承知おき願います。

日本電気株式会社　〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1（NEC本社ビル）

2005年12月現在

Cat.No.J55900　05122002NP

Empowered by Innovation　NEC

Open COBOL Factory21

eビジネス時代のオープン系COBOL統合開発環境

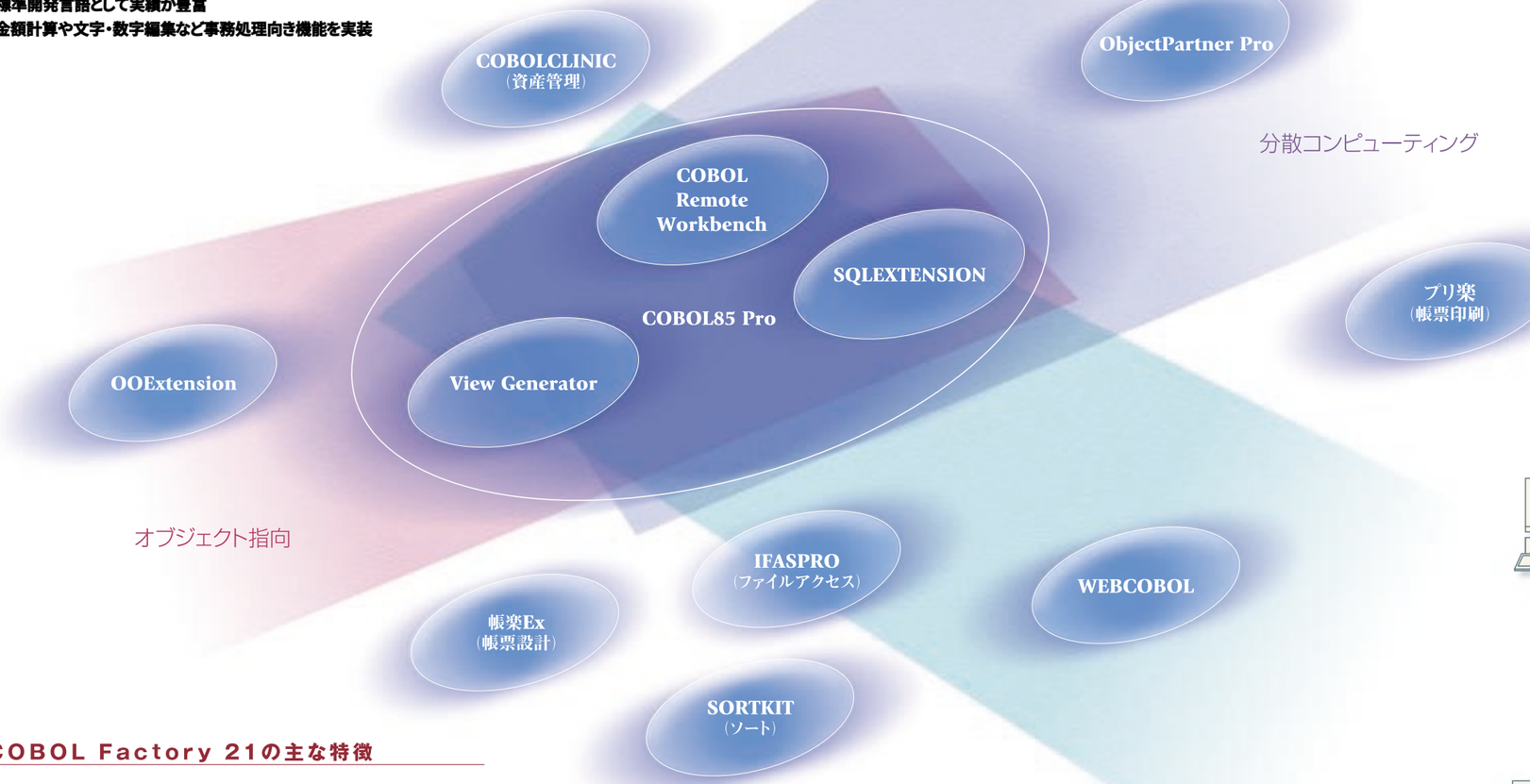
Dynamic Collaboration
柔軟なコラボレーションによる、動的で活力のあるビジネスを

多彩な製品群が
COBOL資産を活用したeビジネスへのソリューションをトータルにサポート

Open COBOL Factory 21。

Open COBOL Factory 21は、COBOL資産を活用したeビジネスへのソリューションをトータルにサポートするオープン系COBOL統合開発環境です。
大切なCOBOL資産を活かしながら少ないコストでシステムのオープン化を実現するとともに、Webコンピューティングや分散コンピューティングにも対応しています。

システムインテグレータがCOBOLを採用するメリット
1.汎用機やオフィスサーバ上の既存資産やノウハウを活用できる
2.基幹業務の標準開発言語として実績が豊富
3.桁数の多い金額計算や文字・数字編集など事務処理向き機能を実装

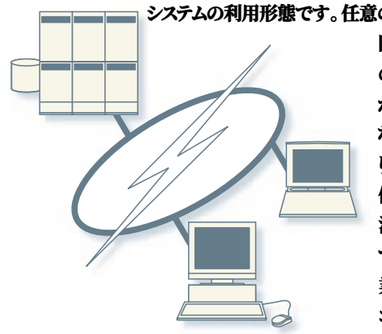


Open COBOL Factory 21の主な特徴

❶ COBOLで定義した業務画面をそのままJavaアプレット化し、任意のWebブラウザ上で基幹業務を容易に実現。
❷ COBOLプログラムを、CORBA/COM/DCOMに対応したサーバコンポーネントとして作成し、IIS/ASPやJavaベースアプリケーションサーバとの連携により、COBOL資産を活かした基幹業務の分散/Webシステム化が可能。
❸ 次期COBOL規格の主要機能であるオブジェクト指向機能により再利用が容易な部品を作成・活用し、生産性や保守性を大幅に向上。
❹ スタンドアロンからクライアントおよび大規模サーバまでのスケーラビリティを実現し、汎用機やオフィスサーバからのスムーズな移行を実現。
❺ XML形式データとCOBOLデータとの相互変換機能を提供し、企業間ECシステム構築をサポート。
❻ Windows2000ターミナルサービスに対応(各製品の対応可否は、巻末を参照ください)

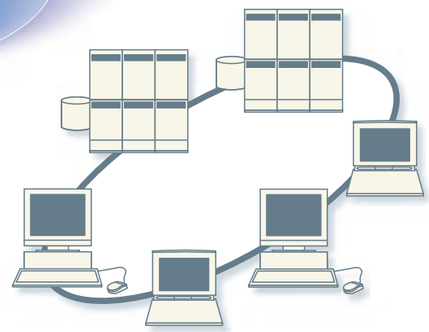
COBOL資産は、Open COBOL Factory 21で進化する。

Webコンピューティング



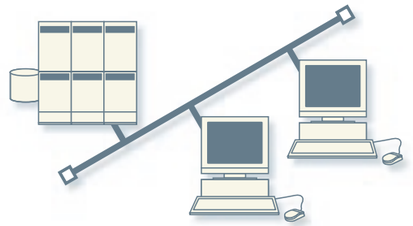
Webコンピューティングとは、インターネット技術とWeb技術を統合した企業情報システムの利用形態です。任意のWebブラウザが利用できれば専用の端末や回線が不要で、システム更新がサーバ側だけの更新で済むため、ソフトウェアの運用・保守にかかる費用（TCO）の大幅な削減が可能となります。さらに、インターネットの世界的な広がりによって、企業の競争力を高める新たな付加価値を生み出すことが実現できるものとして注目されています。Open COBOL Factory 21では、WEBCOBOLで既存COBOL資産の業務画面を簡単にJavaアプレット化し、Webコンピューティングを実現できます。

分散コンピューティング



分散コンピューティングとは、三層分散システムにおける機能層を複数のAPサーバに分散配置する利用形態です。これを実現する基盤がCORBA（Common Object Request Broker Architecture）と、DCOM（Distributed COM）です。負荷分散や機能層の変更要求に柔軟に対応できるなどのメリットがあります。Open COBOL Factory 21では、Object Partner Proを使用して既存COBOL資産をサーバコンポーネント（CORBA, DCOM,COM）化し、分散オブジェクトとして扱うことができます。

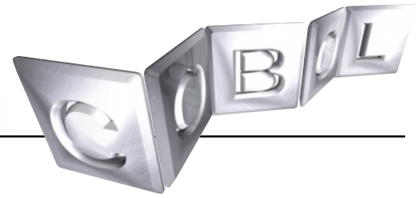
オブジェクト指向プログラミング



オブジェクト指向プログラミングは実世界をモデル化する開発手法で、作りやすく、使いやすく、分かりやすいプログラムが作成可能です。拡張言語仕様は、最新の次期COBOL規格案に準拠し、COBOL 85規格の上位互換も保っているため、既存のCOBOL資産がそのままコンパイル、実行可能です。Open COBOL Factory 21では、OOExtensionによって使い慣れたCOBOLのノウハウを活かしつつ、カプセル化や継承、ポリモルフィズム（多態性）、適合検査などのオブジェクト指向機能が利用できます。

COBOL85 Pro

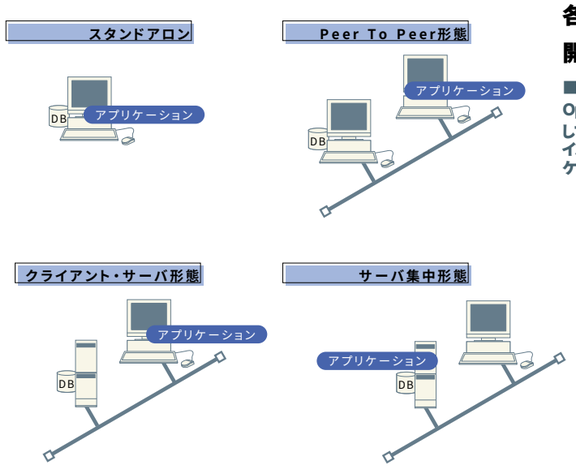
COBOL開発環境



COBOL85 Proは、改訂JIS COBOL（X3002-1992）および、ANSI '85 COBOL（X3.2-1985）に準拠し、オープン連携機能を強化した各種Windows OS上のアプリケーションを開発するためのCOBOL開発環境です。

■COBOL85 ProとCOBOL85の関係

Open COBOL Factory 21の製品構成内に、COBOL85 Proとは別に、COBOL85を提供しています。COBOL85は、COBOL85 Proの大きな特徴である、高いスケーラビリティやメールインタフェース等は提供されません。スタンドアロンやクライアントとしてのPC上の対話型アプリケーションのみが開発可能です。



COBOL85 Proの主な特徴

高いスケーラビリティを実現

スタンドアロン形態、Peer To Peer形態、クライアント・サーバ形態、サーバ集中形態などの各種形態を、1本のアプリケーションで対応させる高いスケーラビリティを実現します。各種Windows OSに対応し、サーバOS上のアプリケーション（WS-EMLからの起動も含む）も、クライアントOS上のアプリケーションも、いずれも開発可能であり、開発されたアプリケーションは再コンパイルせず、いずれの形態のプラットフォームでも動作させることが可能です。

COBOL85 View Generator、COBOL85 SQLEXTENSIONをバンドル

COBOL85 Proでは、COBOL85 View Generator、COBOL85 SQLEXTENSIONをバンドルしています。COBOL85 View Generatorでは、GUI画面の構築やCOBOL85画面節のGUI化が容易に行えます。また、COBOL85 SQLEXTENSIONでは、COBOLソース中のSQL文を解析し、ODBC経由でオープンDB（Oracle、SQL Server、Accessなど）の参照を実現します。

対話型アプリケーションとバッチ型アプリケーションを共に開発可能

画面入出力を行う形態の対話型アプリケーションと、夜間バッチなどで利用される画面入出力のないバッチ型アプリケーションが、共に開発可能です。

オープン連携

XML形式データとCOBOLデータとの相互変換を実現するXML連携機能や、ActiveXコントロール生成機能、CSVファイル入出力機能、DLL生成機能、メールインタフェースシステムサブルーチンを備えています。

マルチスレッド対応したサーバコンポーネントランタイムを提供

サーバサイドアプリケーションに対応したランタイム製品を提供します（別売）。Webシステム連携を実現するサーバコンポーネントをマルチスレッドプログラムとして実行することができます。マルチスレッドプログラムは、サーバサイドアプリケーションの起動時間の短縮やサーバリソースの節約を行い、Webシステムのパフォーマンス低下を抑制します。

COBOL85 Pro Workbenchを提供

■COBOLプログラミングに適したエディタ

予約語やコメント行の色分け、入力補完機能、自動行番号付与など、COBOLソースプログラム形式に適したエディタを搭載しています。

■プロジェクト管理機能

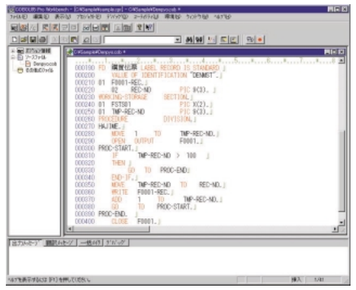
COBOLソースプログラムと登録集原文の依存関係や、オプション指定等をプロジェクトとして管理することで、ソース編集後の依存関係に則ったコンパイルおよびリンクを行います。

■コンパイルエラー修正支援機能

コンパイル時の診断メッセージをダブルクリックすることによるエラー行位置付けや、診断メッセージの説明ヘルプ表示などコンパイル時のエラー修正が容易に行えます。

■ビルドインされたビジュアルなデバッガ

Workbench上で動作し、エディタ上のCOBOLソースプログラムを対象としてアプリケーションのデバッグがビジュアルに行えます。



アプリケーション動作のカスタマイズツールを提供

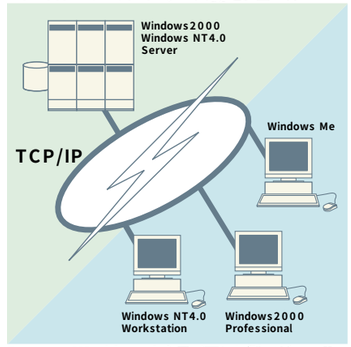
アプリケーションが使用するファイル種別や実ファイル名の指定を行うファイルマッパー、アプリケーションの動作（ウィンドウ、キーボード、プリンタなど）をカスタマイズするアプリケーションカスタマイザを提供しており、実行時の環境にフレキシブルに対応できます。

COBOL Remote Workbench

COBOLリモート開発環境

COBOL Remote Workbenchは、COBOLソースプログラムなどの開発資産をWindowsNT、Windows2000 Serverのサーバマシン上に配置し、クライアントとなるWindowsマシンからCOBOLアプリケーションの開発を可能にするCOBOL分散開発環境です。

Remote Workbenchサーバ側モジュール



Remote Workbenchクライアント側モジュール

COBOL Remote Workbenchの主な特徴

COBOL85 Pro Workbenchと同等の機能を提供

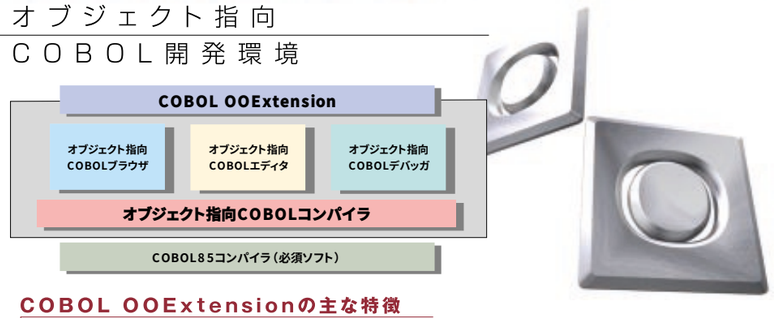
プロジェクト機能、ソース編集機能やメイク機能など、COBOL85 Pro Workbenchと同等の操作が可能です。

ユーティリティ起動機能

専用のアプリケーションカスタマイザやファイルマッパーを起動することにより、サーバ側のアプリケーション動作環境をクライアント側で設定することができます。COBOL Remote Workbenchには、COBOL85 Proおよび5ユーザクライアントライセンスが同梱されています。

COBOL OOExtension

オブジェクト指向
COBOL開発環境



COBOL OOExtensionは、次期COBOL規格を先取りしたオブジェクト指向COBOLコンパイラとクラスブラウザ等のオブジェクト指向プログラミング支援環境を備えた開発環境です。

COBOL OOExtensionの主な特徴

COBOLでオブジェクト指向をサポート

使い慣れたCOBOLで、抽象化やカプセル化、ポリモルフィズム、継承、適合検査等のオブジェクト指向技術がご利用できます。

従来COBOLとの上位互換を保持

COBOL言語と上位互換を保っているので、既存のCOBOLプログラムをそのままコンパイル実行可能です。10進演算、データ編集、文字列処理、ファイル操作、整列併合、日本語処理、原始文操作などのCOBOL機能がそのまま使えます。

次期COBOL規格案に準拠

拡張される言語仕様は、ANSIおよびJISの第4次COBOL規格案に準拠しています。追加された命令は、オブジェクトのメソッドを起動するためのINVOKE命令だけです。INVOKE命令は、CALL命令に類似し、これまでのCOBOLの知識を基にしてプログラミングが可能です。

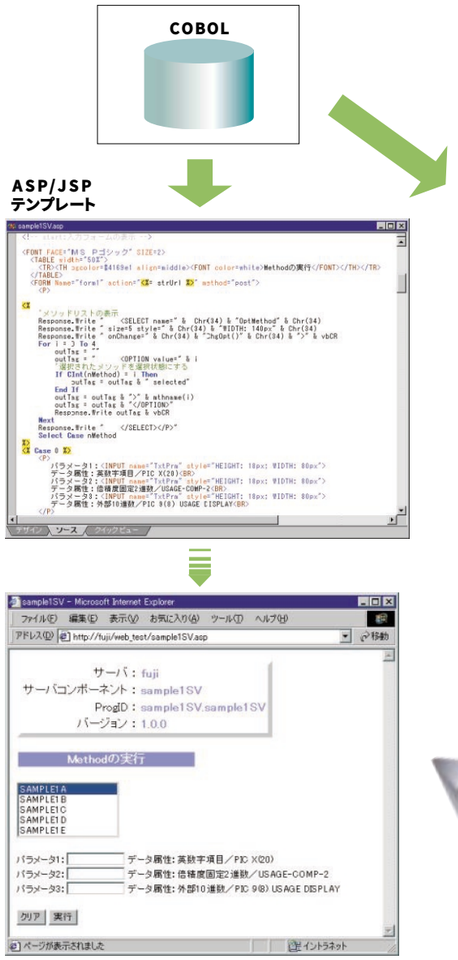
オブジェクト指向開発環境

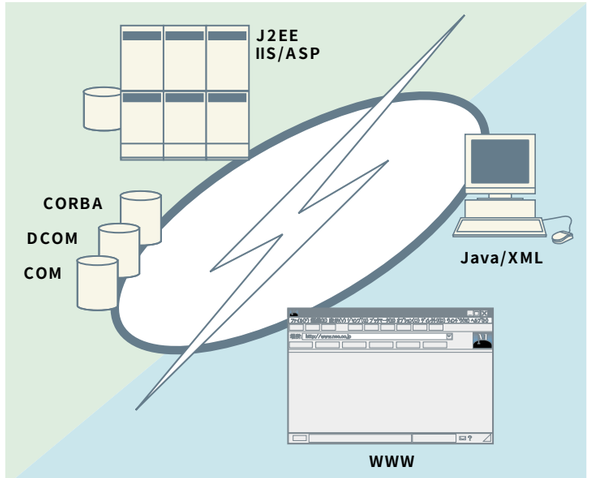
オブジェクト指向プログラミングを支援するクラスブラウザ、専用エディタ、オブジェクト指向COBOLデバッガ、プロジェクト管理等の機能を備えた開発環境を提供します。

ObjectPartner Pro

Web/分散システム開発環境

ObjectPartner Proは、Web/分散システム環境においてCOBOL資産を活用するためのコンポーネント生成機能を提供するツールです。COBOL資産を拡張性の高いネットワークコンピューティング環境で再活用することができます。





ObjectPartner Pro の主な特徴

従来資産のWeb/分散システムへの適用

既存のCOBOL資産を、APサーバWebOTXなどのWeb/分散システム環境にスムーズに移行できます。サーバコンポーネントとして呼び出したいCOBOL手続きを指定するだけで、最小限のプログラム修正で、CORBAやCOM/DCOMのサーバコンポーネントを生成することができます。

作成したサーバアプリケーションを簡単に利用

サーバコンポーネントをWebクライアントから簡単に利用するために、ASP（Active Server Pages）テンプレートや、JSP（Java Server Pages）テンプレートを自動生成します。DCOM/CORBAコンポーネントを呼び出すクライアントアプリケーションの作成においても、その呼び出しに対して特別な記述は必要ありません。サーバコンポーネント生成時に、COBOL手続きの呼び出しと同じCALL命令から、自動的にそれぞれの分散オブジェクトの呼び出し処理を行うためのライブラリファイルを生成します。

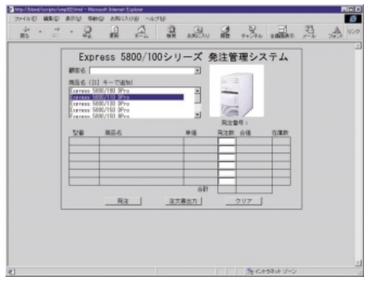
COBOL85 Pro Workbenchとの連携

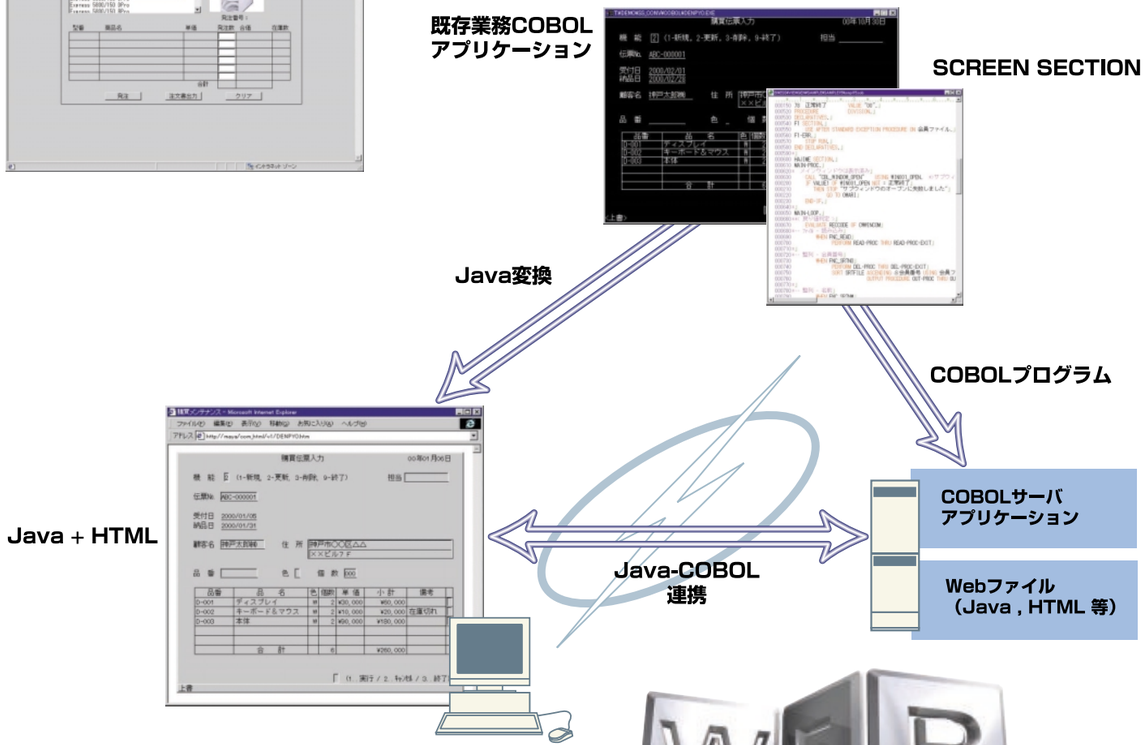
COBOL85 Pro Workbenchとの連携により、コンポーネントの各種情報を設定するだけで、容易に開発することが可能です。また、それらの情報はプロジェクトとして管理されます。それぞれのコンポーネント基盤に必要な処理やIDL（インタフェース定義言語）ソースファイルなどは自動的に生成されます。（COBOL Remote Workbenchとも連携しています）

WEBCOBOL

Webコンピューティング機能

WEBCOBOLは、COBOL業務プログラムの業務画面をWebブラウザ上で利用可能とするツールです。COBOL85 Proに追加することで、Webコンピューティング機能が利用可能になります。





WEBCOBOLの主な特徴

どこからでも業務の実行が可能

インターネット、イントラネットに接続されたWebブラウザがあれば、どこからでも業務を行うことが可能です。さらに、操作性は従来のままです。

画面節移行機能

画面節をJava+HTMLに変換し、Javaアプレット（クライアント）とCOBOLアプリケーション（サーバ）に分離します。さらに、生成したJava+HTML形式の画面と、元のCOBOLプログラムとの連携を自動的に行いますので、元のCOBOLソースプログラムを修正する必要はありません。

TCO削減を実現

端末に必要なソフトウェアは、Webブラウザのみです。このため、特別なソフトウェアをインストールしたり、開発したアプリケーションをクライアント毎に配付する必要がなく、TCO削減に貢献します。

Java／HTML-COBOL連携機能

JavaアプレットやHTML画面とWebサーバ上のCOBOLプログラムとが直接連携する手段も用意しています。連携するためには、Java用にはクラスを、HTML用には独自のタグを、またCOBOL用にはシステムサブルーチンをそれぞれ提供しますので、Javaプログラム、HTMLソース、COBOLプログラムに連携処理を直接記述できます。

COBOL85 View Generator

COBOL用GUIプログラム開発ツール

COBOL85 View Generatorは、アプリケーションのユーザインタフェース部分をビジュアルに構築できる手続き指向のGUIプログラム開発ツールです。

COBOL85 View Generatorの主な特徴

部品を貼り付けるだけのGUIアプリケーション設計

マウスやキーボードを使って、あらかじめ用意されたコントロール部品をシート上に貼り付けることにより、GUIアプリケーションを容易に作成できます。それぞれの部品に対応した手続きは、従来どおりのソース形式で記述できます。

画面操作処理を簡易に記述するエディタ

各コントロール部品に対する基本操作は、すべて選択形式でできるような専用のエディタを提供しています。また、複雑な処理は今までのCOBOLで記述し、サブルーチンとして呼び出すことが可能です。

COBOLプログラムとイベント処理とのインタフェースも容易

画面処理とCOBOLプログラムとの連携用の登録集原文を生成しますので、COBOLプログラムからの画面操作も容易に行えます。

COBOL言語に特化したコントロール部品のサポート

PICTURE編集付きコントロール部品などCOBOL言語特有のコントロールをサポートしていますので、COBOLのデータ定義と同じ感覚で数値編集をもつコントロール部品が定義できます。

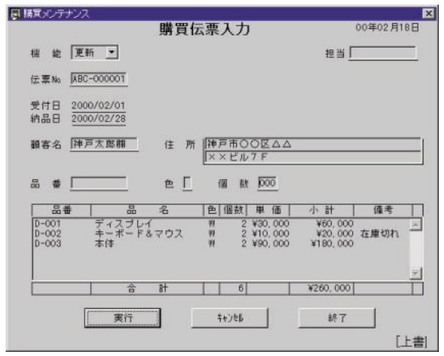
画面節移行機能を搭載

現在お使いのCOBOLプログラムを、ソースをほとんど修正せず、GUIアプリケーションに移行することができます。また、移行した画面の中に画面節のみでは記述できないボタンやコンボボックス等のコントロール部品を追加できるため、より自由な画面設計が可能です。

従来資産の有効活用が可能

画面処理とCOBOLプログラムとの独立性が高いので、従来のCOBOLプログラムを効率よくGUI化できます。

元のCUI画面

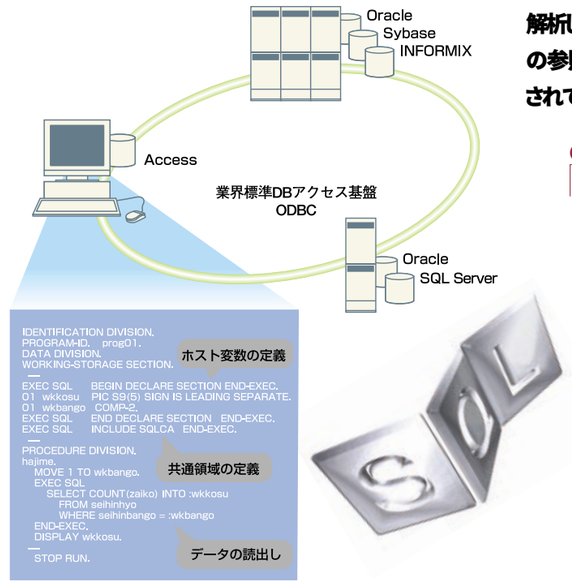


GUIへ移行した画面

COBOL85 SQLEXTENSION

SQLプリコンパイラ

COBOL85 SQLEXTENSIONは、COBOLソース中のSQL文を解析し、ODBC経由でオープンDB（Oracle、SQL Server、Accessなど）の参照を実現するツールです。COBOL85 Proには標準でバンドルされています。



COBOL85 SQLEXTENSIONの主な特徴

業界標準のDBアクセスをサポート

ODBC2.0に準拠しており、対応ドライバが提供されているオープンDB（Oracle、SQL Server、Accessなど）をSQL文でアクセスできます。

高性能コンパイラを提供

独立したプリコンパイラとして動作し、COBOLソースプログラム中のSQL文を高速に展開します。また、COBOL85 Pro Workbenchとの連携機能により、SQL文を含んだCOBOLソースプログラムをWorkbenchからコンパイルできます。

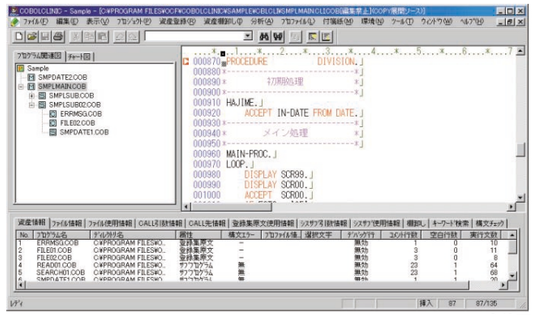
接続DBの変更にも柔軟に対応

実行環境設定ツールによって、再コンパイルせずに任意の異なるDBに接続先を変更できます。

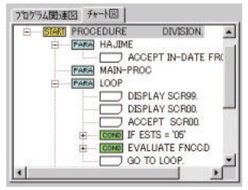
COBOLCLINIC

開発保守支援ツール

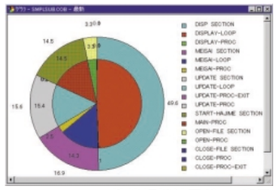
COBOLCLINICは、COBOL資産に関してさまざまな分析を行うことが可能な開発保守支援ツールです。Windows系のCOBOL資産だけでなく、オフィスサーバ・端末系のCOBOL資産にも対応しているため、Open COBOL Factory 21へのスムーズな移行を促進します。



全体図



チャート図表示



性能解析結果グラフ表示

COBOLCLINICの主な特徴

資産棚卸し機能

COBOLプログラムを整理し、メインプログラム、サブプログラム、コピー原文のいずれかに仕分けし、親子関係を洗い出します。

プロセス分析機能

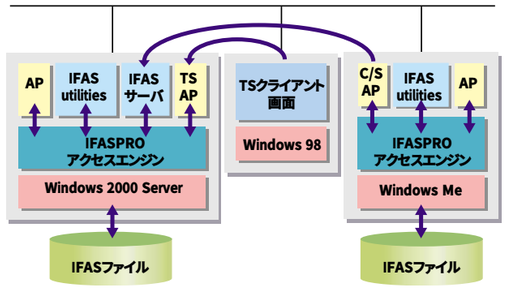
プログラムのロジックをチャートで表示したり、チャートの任意の箇所をブロック化して、そのブロックにメモ書きできるなどロジックの理解を支援します。

プロファイル機能

COBOLプログラムを実行した時に収集したプロファイル情報を取り込み、性能解析結果を一覧およびグラフで表示します。また、各プログラムの網羅度をチャート上に表示します。

IFASPRO

統合ファイルアクセスシステム



IFASPROは、Windows 95／98／Me、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP上で動作するファイル利用アプリケーションの構築／実行を支援する“統合ファイルアクセスシステム”です。

コミット/ロールバック/ロールフォワード、スタンドアロンアクセスのみならずC/S(クライアント/サーバ)アクセス等、汎用機のデータアクセスと同等の機能を提供しています。

IFASPROの主な特徴

業務アプリに欠かせないファイル編成・APIをサポート

順編成、相対編成、索引順編成(副次索引も含む)の各編成のファイル入出力機能を提供しています。 COBOL85からの利用以外に、VB(カスタムコントロール)やC言語での利用も可能です。

汎用機並みのアクセス制御とリカバリ機能

レコードレベルの排他アクセス制御(デッドロックの自動検出可能)、

豊富なユーティリティ

運用／保守を支援する各種のユーティリティやツールを装備しています。下記の代表的なユーティリティも含めて、十数個のユーティリティやツール(コマンド)を標準添付しています。

■ファイル管理ユーティリティ

IFASファイルの利用状況の一覧表示等ができます。

■ファイルコピーユーティリティ

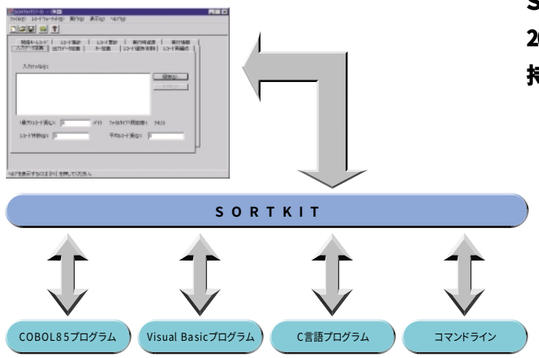
テキストファイルやCSVファイルとIFASファイル間の相互変換等ができます。

■サーバ管理ユーティリティ

IFASサーバ上で動作しているクライアントスレッドやサーバAPの稼動状況を一覧表示できます。

SORTKIT

高速ソート／マージユーティリティ



SORTKITは、Windows 95／98／Me、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP上で動作する、高速処理性能と豊富な機能を併せ持つ、汎用的で優れた性能の高速ソート／マージユーティリティです。

SORTKITの主な特徴

高速ソート

大量データの処理に適したソートアルゴリズムを採用し、高速にソートを行います。

ビジネス業務に適したユーザインタフェース

ビジネス業務に適したユーザインタフェースとして、COBOL85 ProおよびCOBOL85の整列併合機能としての利用、コマンド起動によるバッチ処理、GUIによる対話的なオプション設定／実行、ActiveXコントロールによるVisualBasicからの利用など、多様な処理形態で活用できます。

豊富な機能

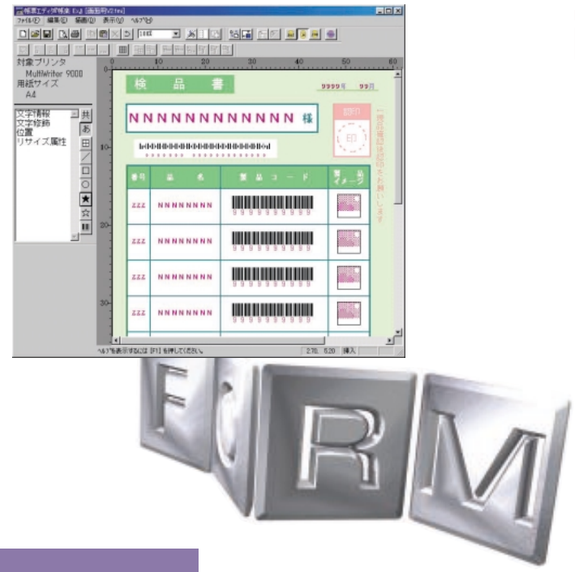
同値キーレコード処理、レコード選択削除機能、レコード再編成機能、同値キーレコード集計機能、レコード累計機能、キー比較時オプション、複数ファイル出力機能など、さまざまな局面で活用できる機能を用意しています。

さまざまなキータイプ

EBCDIC、シフトJIS、パック／アンパック10進数、固定小数点数、浮動小数点数など、さまざまなタイプのキーを扱うことができます。

帳楽Ex

帳票作成支援ツール



帳楽Exは、ワープロ感覚で簡単に帳票が設計できる帳票作成支援ツールです。

帳楽Exの主な特徴

簡単な操作で帳票設計が可能

ワープロ感覚で文字、各種図形、バーコード、イメージを入力することで帳票イメージが簡単に設計できます。また、表作成機能を使用することにより、容易に表形式の帳票作成を行うことができます。

印刷データの位置決めが不要な編集定義機能

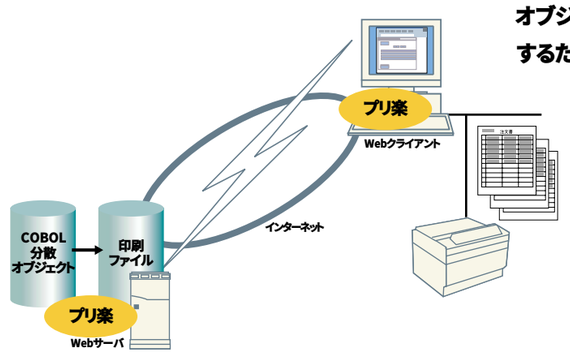
文字、イメージ、バーコードの編集定義を印刷したい位置に入力するだけで、印刷位置／編集方法を簡単に指定できます。この時COBOL85で用いる変数定義ファイルを生成しますので、印刷時の位置決め、編集等は必要ありません。

さまざまなプリンタで印字可能

印刷するプリンタは機種を選びません。Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XPでサポートしているプリンタであれば、そのまま印刷することができます。

プリ楽

Web帳票印刷ツール



プリ楽は、COBOLで作成したCOM、CORBA、DCOMのサーバオブジェクトから帳票データを作成し、クライアントマシンで印刷するために必要なソフトウェアです。

プリ楽の主な特徴

帳票はビジュアル設計

帳票設計には「Open COBOL Factory 21/帳楽Ex」を利用します。カラー印刷やバーコード・イメージデータの印刷が行えます。また複写式などの専用帳票の定義も簡単に行えます。

容易な印刷手順

印刷はブラウザにアドオンしたプラグインを利用しますので、アプリケーションを実行することなく簡単に印刷できます。

印刷イメージの事前確認

環境設定により、プレビュー表示を行うことができますので、印刷イメージの事前確認も容易に行えます。

プリンタの自動切換え

帳票毎のプリンタ自動切替えが可能ですので、サイズの異なる用紙を別々のトレイで使い分けることができます。

帳票の一括管理

印刷に必要なフォームデータをサーバ配信しますので、クライアント側でフォーム管理を行う必要がありません。